

■検討の方針

西部地域は(仮称)鈴鹿PAスマートICに隣接し、交通の利便性が良くなることから、今後、高速道路を活かした新たな産業の集積が期待される。
 想定できる施設規模等に基づき、樺まちづくり協議会と土地利用を検討していく。



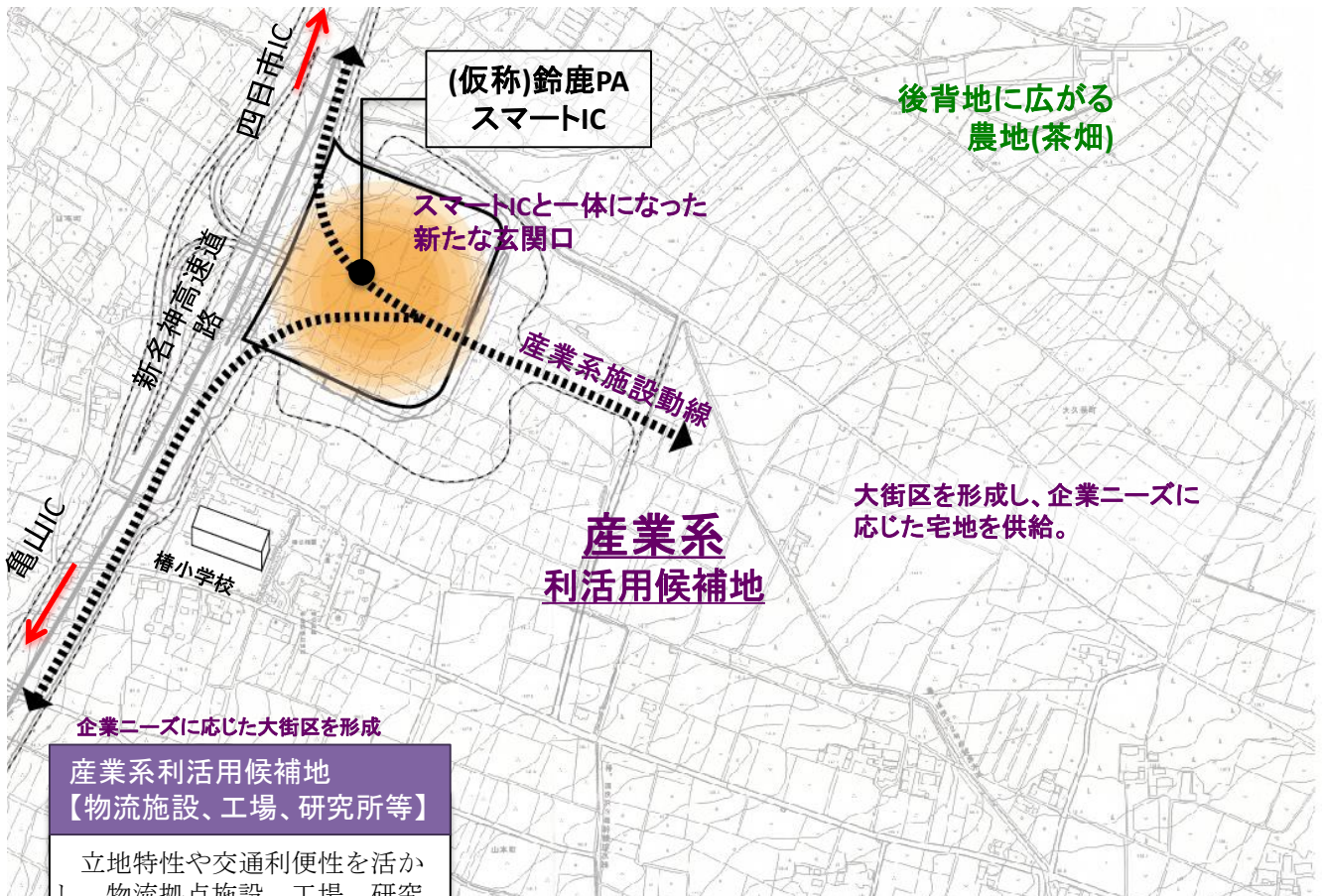
参考: 草加都市計画事業三郷インター南部土地区画整理事業(埼玉県)

- ・スマートICに隣接した立地であることから、
 進出企業は大規模な事業用地を求めている。
 (10,000坪(約33,000㎡)以上)



写真: 樺まちづくり協議会【平成27年9月14日開催】

■土地利用構想図(案)



企業ニーズに応じた大街区を形成

産業系利活用候補地
 【物流施設、工場、研究所等】

立地特性や交通利便性を活かし、物流拠点施設、工場、研究所等の施設を誘致し、都市的土地活用を検討する。

- 都市基盤の整備
- 鈴鹿市の新しい産業拠点
- 環境に配慮した
 (仮称)ガイドライン策定

* この土地利用構想図(案)は、コンセプトに基づく用途・機能を配置したものであり、今後関係機関との協議により変更することが想定される。